

## 2023年度 研究活動実績

### 著書

- 晴佐久悟, 石塚洋一, 廣瀬晃子, 田浦勝彦, 筒井昭仁 (2023). 一般社団法人日本口腔衛生学会  
フッ化物応用委員会 (編): フッ化物洗口・ファクト 2022 フッ化物洗口に関する疑問に答える (第2版),  
東京: 口腔保健協会.
- 秋房住郎, 佐藤 勉, 新庄文明, 日野出大輔, 廣瀬晃子, 福田英輝, 葭原明弘 (2023): デンタルスタッフ  
の衛生学・公衆衛生学 (第2版), 東京: 医歯薬出版  
廣瀬晃子. 第2章 人口. 12-27. 第9章 母子保健. 132-149.
- 岡村絹代 他 (2023). 岸田良平 (編): 臨床老年看護 5. 6月号 30(3), 東京: 日総研出版社  
岡村絹代. 大学における老年看護学教育の工夫. 54-62.

### 学術論文

- 岩崎淳子, 武藤英理, 則武 翔 (2022). 統合実習における学生の学びと今後の課題. 朝日大学保健医療学  
部看護学部看護学科紀要, 第9号, 28-32.
- 加藤 輝, 道林千賀子, 葉袋淳子, 成順月 (2023). 過疎地域在住高齢者の地域への愛着に関連する要因  
—男女別の検討—. 社会医学研究, 40(2), 166-183.
- Hideyuki Tanaka, Mika Mezawa, Satoshi Nakao, Koumi Miyasaka, Sakiko Hirofuji, Moe Yamashita, Kensuke  
Matsui, Nanaka Ichihara, Yuuka Nokura,<sup>1</sup> Mari Iwata, Mayumi Kitamura, Megumi Horibe, Hirofumi  
Tamaki, Kazuhiro Iguchi, Mitsuhiro Nakamura (2023). Analysis of spontaneous adverse events with  
Janus kinase inhibitors reported to the Japanese Adverse Drug Event Report database, Pharmaceutical  
and Biomedical Research. 9(4).
- 北村真由美, 清水八恵子 (2023). 看護基礎教育におけるインシデント・アクシデントの実態と課題に関する  
文献的考察 —情報管理に焦点をあてて—. 第24回日本医療情報学会看護学術大会論文集, 203-206.
- 北野淑恵, 堀 美保, 武藤英理 (2023). 多職種連携における学生の学び ～テキストマイニングツールによ  
る講義の学びの分析から～. 朝日大学保健医療学部看護学科紀要, 9, 19-23.
- 奥野友紀, 川村真紀子, 加藤治実, 小園千草, 平賀元美, 三吉友美子 (2023). コロナ禍における看護学生  
の看護技術学習方略の実態. 医学と生物学 (Medicine and Biology), 163 (2).
- 水越秋峰, 佐藤章伍, 清水八恵子, 須賀京子 (2023). 基礎看護学実習室予約管理システムの運用と課題. 情  
報学研究, 32, 27-30.
- 神谷美香, 武藤英理, 清水八恵子 (2023). 排便時の急変場面に遭遇した看護師の経験に関する実態把握調  
査結果. 修文大学紀要, 14. 47-53.
- 岡村絹代, 松山 旭, 名和祥子, 清水八恵子 (2023). Literature Review on Dementia-Friendly Cities 認知症  
にやさしい町に関する文献検討. 朝日大学保健医療学部看護学科紀要, 9, 2-8.
- 佐藤章伍 (2023). 看護師の倫理的行動との関連要因の検討. 日本看護倫理学会誌, 15(1), 40-52.
- 清水八恵子, 佐藤章伍, 水越秋峰, 坂向舞子, 須賀京子 (2023). グループワークと相互評価を用いた看護  
過程論の授業における学生の学び. 朝日大学保健医療学部看護学科紀要, 9, 13-18.
- 清水八恵子, 須賀京子 (2023). 看護過程に対する学生の認識. 愛知県看護教育研究会 (26), 31-36
- 上田ゆみ子 (2023). 卒業時修得を目指すコミュニケーションスキル評価尺度の開発と関連要因の検討. 愛  
知県立大学大学院看護学研究科看護学専攻 博士学位論文, 1-97.
- 上田ゆみ子, 酒井田由紀 (2023). バイオスキムプレートを用いた医療用テープの剥離試験 —剥離速度に着  
目した検討—. 日本看護技術学会誌, 22巻, 9-14

## 学会発表

- 小澤亨司, 廣瀬晃子, マスクの除塵性能について, 第 64 回日本歯科医療管理学会総会・学術大会, 岐阜, 2023.7.16.
- 北村真由美, 清水八恵子. 看護基礎教育におけるインシデント・アクシデントの実態と課題に関する文献的考察 ―情報管理に焦点をあてて―. 第 24 回日本医療情報学会看護学術大会. 兵庫. 2023.7.22～23.
- 北村真由美, 堀部めぐみ. 都道府県別にみる糖尿病患者を取り巻く医療体制の実態. 日本ヒューマンヘルスケア学会第 6 回学術集会. 岐阜. 2023.9.23.
- 北村真由美, 武藤英理, 岩崎淳子, 堀 美保, 小園千草, 水谷裕子. 看護基礎教育における地域包括ケアシステムについての学びと課題に関する文献検討. 第 43 回日本看護科学学会学術集会. 山口. 2023.12.9～2023.12.10.
- 奥野友紀, 川村真紀子, 加藤治実, 小園千草, 平賀元美, 三吉友美子. 看護技術学習方略が看護大学 1 年生の自己効力感へ与える影響. 日本看護研究学会集会第 49 回学術集会. オンライン開催. 2023.08.19～20.
- 小園千草, 武藤英理, 岩崎淳子, 堀 美保, 北村真由美, 水谷裕子. 成人看護学(急性期)学生模擬患者参加型シミュレーション演習における学び. 第 43 回日本看護科学学会学術集会. 山口. 2023.12.09～10.
- 村田千代栄, 中村廣隆, 野口泰司, 斎藤 民. グループプログラムが高齢者に与える効果～混合研究法を用いた検討. 第 33 回日本疫学会学術総会. 静岡. 2023.2.1～3.
- 松村貴与美, 井手一茂, 辻 大士, 中村廣隆, 近藤克則. 通いの場参加と社会経済階層: JAGES2019 横断研究. 第 82 回日本公衆衛生学会総会. 茨城. 2023.10.31～11.2.
- Shoko Nawa, Akira Matsuyama, Kinuyo Okamura. Investigation on the status of the work engagement of ward nurses and related factors. EAFONS 2023 : 26th EAST ASIAN FORUM OF NURSING SCHOLARS. Tokyo. 2023.3.10～11.
- Shoko Nawa, Akira Matsuyama, Kinuyo Okamura. Relationship between the work engagement and work-life balance of ward nurses. EAFONS 2023 : 26th EAST ASIAN FORUM OF NURSING SCHOLARS. Tokyo. 2023.3.10～11.
- 名和祥子. 高齢者における国外の口腔ケア専門職連携教育に関する現状と課題. 第 43 回日本看護科学学会学術集会. 2023.12.9～10.
- 清水八恵子, 北村真由美, 小園千草. 看護系大学における SDGs の取り組みの現状. 日本看護研究学会第 27 回東海地方会学術集会. 名古屋 (WEB 紙上発表) 2023.3.4.
- 清水八恵子, 北村真由美. 看護基礎教育における情報リテラシー教育の現状と課題に関する文献検討. 第 24 回日本医療情報学会看護学術大会. 神戸. 2023.7.22～23.
- Takanari Sugawara, Hiromi Kuwata. Ingenuity of Evacuation at the Time of Disaster for Families Living with Physically Disabled Persons. 16th International Family Nursing Conference. Dublin. 21～23 June 2023.
- 大高光李, 中島義枝, 菅原隆成, 桑田弘美. 地域医療連携室職員が退院調整時に感じる困難の要因 ―自宅から入院した高齢患者に着目して―. 第 54 回日本看護学会学術集会. 神奈川. 2023.11.8～9
- 西部真由美, 加藤あや子, 古田祐世, 菅原隆成. 脳疾患後の高齢患者家族が抱く思いの変化の実際. 第 54 回日本看護学会学術集会. 神奈川. 2023.11.8～9
- 渡邊弘美, 小塚理恵, 藤井三津江, 野田玲子, 加藤あや子, 菅原隆成. 療養者と家族の意向に沿った最期を迎えることができた要因～主治医との意見が合わなかった一事例を通して～. 第 28 回日本在宅ケア学会学術集会. 大阪. 2023.11.11～12
- 桐山啓一郎, 菅原隆成, 松井陽子. 看護実践現場で運用できる倫理カンファレンスについて体験しながら検討しよう. 第 43 回日本看護科学学会学術集会. 山口. 2023.12.9～10

桐山啓一郎, 菅原隆成. 一般病棟に所属する看護師が身体拘束時に抱く葛藤とその対処の計量テキスト分析.  
第43回日本看護科学学会学術集会. 山口. 2023.12.9～10

Akiko HONDA, Manami WATANABE, Tsunehiko BAN, Yoshihisa UMEMURA. Do college male cyclists have low bone mass?- comparing with volleyballers in osteogenic responses- European College of Sports Sciences 28<sup>th</sup> Paris 2023.07.05